

令和4年度

第41回 全日本ジュニアバドミントン選手権大会  
ジュニア新人の部南北北海道予選会兼ジュニア研修会

新型コロナウイルス感染症対策

**「競技・運営上の注意」**

北海道バドミントン協会

## 1. 基本的な考え方

公益財団法人日本バドミントン協会および北海道協会が作成した新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドラインに準じて、参加者および関係者の健康と安全の確保を最優先して実施する。

## 2. 会場への入場制限および無観客試合の実施について

- ① 本大会は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から入場者の制限をするとともに、無観客試合での大会実施とする。会場内への出入りについては、原則当日試合に出場する選手、監督（顧問）外部指導者（コーチ）・マネージャー、役員（審判含む）および補助生徒のみとする。（以下、大会関係者とする）  
※保護者等の入場はできません。ただし、当該校の教員や外部指導者、双方の引率が見込めない場合は、その選手の保護者を引率責任者（＝監督）として認める。
- ② 新型コロナウイルス感染症防止対策のため、大会関係者は以下の書類を必ず提出すること。  
【提出書類】健康状態確認書（選手用・大会参加者用）  
※受付時に監督又は引率者が提出する。（男女まとめてもよい）  
※各自、自宅（宿泊先）で検温を済ませておくこと。  
※2日目の研修会も同様とする。受付時に監督又は引率者が提出する。（男女まとめてもよい）  
※役員についても同様の書類を提出する。  
●【提出書類】健康状態確認書（選手用・大会参加者用）は、主催者等で一定期間保管し、期間経過後はシュレッダー処理をする。なお、体調がよくない場合（発熱・咳・倦怠感などの症状がある）は、自主的に参加を見合わせる事。
- ③ 大会関係者は、常時マスクを着用する。水分補給を促し、熱中症対策も講じる。
- ④ 試合が終了した選手は、監督（顧問）とよく相談の上、保護者の協力を得ることが可能であれば帰宅に努める。
- ⑤ 「新北海道スタイル」安心宣言を掲示し啓発を行う。

## 3. 会場内で使用する物品について

感染拡大予防として使用する、消毒薬、遮蔽用具、非接触型体温計等を事前に準備する。（消毒薬の残量チェックを定期的に行う。）

## 4. 開場時間・受付について

- ① 体育館開場時間は8：00の予定です。各地区・地域ごとに入口を分けて入場してもらう。※別紙参照
- ② 会場の入り口に受付を用意します。「プログラム」、「参加料領収書」、「競技・運営上の注意」、「IDカード（入場証）」を同封した封筒を受け取って下さい。IDカードは大会期間中、必ず身につけること（試合時の選手は除く）。帰る際はIDカードを受付に戻して下さい

## 5. 大会会場内に関する確認事項

- ① 換気の悪い密閉空間にしないよう、定期的に外気を取り入れる換気を行う。密を避けるため、組み合わせやタイムテーブルの掲示はしない。

- ② 外履きは袋に入れ各自で管理する。
- ③ 更衣室の使用については消毒を徹底して行い、シャワー・ロッカーの使用を禁止する。
- ④ 食事場所は、飛沫が発生し感染リスクが高いことから、密にならないよう感染拡大防止を徹底する。
- ⑤ 待機場所および観戦については、指定された場所や席または距離を開けて行い、席の移動は禁止する。
- ⑥ 応援は声を出さずに拍手をもって行う。

## 6. 大会本部

- ① 大会本部の設置は、密を避けるように配置し、適切な運営スペースを確保する。
- ② 関係者控室は、なるべく多くの部屋を確保し、密を避けるようにする。但し、確保が困難な場合は、飛散防止シート等の設置、利用人数の制限を行う。
- ③ 共用スペース（トイレ・控え室・食事場所等）および共有物品については、定期的に消毒を行う。

## 7. 競技会場（競技スペース）及び競技関係用具類について

バドミントンの大会は体育館内で行われるため、換気については特に配慮が求められ、また、競技で使用する用具には不特定多数の方が直接手を触れる物が多いため、大会期間の前後を含む継続した対応を行う。

- ① 遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う。
- ② 窓や扉の開放ができない場合は、換気の悪い密閉空間とならないよう十分な換気を行う。その際は、換気のタイミングや換気時間等を決め、事前に周知する。
- ③ コートサイドにはカゴやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバッグに保管する。
- ④ コーチングシートは1席のみ用意する。
- ⑤ コーチングシートの椅子は、チェンジエンス毎に持ち歩くこと。
- ⑥ インターバルの時間は設定するが、ボードは使用しない。
- ⑦ コートのモップ掛けは、毎試合終了後に行う。
- ⑧ 毎試合終了後の審判用具（筆記用具・ボード・カゴ）を消毒する。
- ⑨ 毎試合終了後の審判台・線審席・コーチ席・得点係席を消毒する。

## 8. 競技関係者及び競技中の確認事項

- ① 線審、得点係等は、マスクを着用する。水分補給を促し、熱中症対策を講じる。
- ② 得点係は、手袋（ビニール）を使用する。
- ③ 選手同士や審判員との握手は行わない。
- ④ トスは、フィジカルディスタンスを確保して行う。
- ⑤ コールは、必要最小限とする。「プレー」「フォルト」「レット」「ゲーム」等で行う。線審は、指定の合図を行い、コールをしない。
- ⑥ シャトルの交換は主審に確認の上、選手がシャトルを直接筒から取り出し、使用済みシャトルは選手が回収ボックスに入れる。（主審の逆サイドに設置する）※定期的に競技役員が確認する。
- ⑦ プレーヤー同士や監督・コーチとのハイタッチ等の接触を行わない。また、ラケット・タオル等の用具の貸借はしない。
- ⑧ 汗をコート内やコートサイドに投げない。
- ⑨ シューズの裏を手で拭かない。
- ⑩ 意識的に試合中の声出しは、極力控える。
- ⑪ コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行う。

- ⑫ 競技の服装は（公財）日本バドミントン協会審査合格品とする。
- ⑬ 着衣表示については、（公財）日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。但し、ウェアの表示については、一部、（公財）日本中学校体育連盟バドミントン競技部申し合わせ事項を加える。
- ⑭ 上衣の背面中央に必ず中学校（チーム名）及び姓を日本文字（楷書）で明記（上段：学校名もしくはチーム名、下段：姓）し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。なお、チーム内に同姓がいる場合は名前の一文字目を小さく入れること。ゼッケンを使用する場合、白の布地で縦20cm、横30cmの大きさを基準とし、文字の高さは6～10cmとする。（ゼッケンの文字の色は、黒色または濃紺色とする）
- ⑮ 主審は敗者地区責任審判制とする。線審・得点係は地区協会が担当する。

#### 【試合について】

- ① 選手は、定時（指示のあった時刻）に速やかに試合コートに入って下さい。
- ② 試合開始前の練習は挨拶の後、主審の指示に従って同時に3分間行って下さい。対戦選手同士で行う。練習球はそれぞれの選手で持ち寄ること。
- ③ 試合が終了したら、主審の指示により対戦相手と挨拶をしてから退場して下さい。

### 9. 開閉会式・代表者会議・公式練習について

- ① 開会式及び閉会式は実施せず、表彰のみ随時行う。
- ② 代表者会議は実施せず、この新型コロナウイルス感染症対策「競技・運営上の注意」とあわせて、大会(8日)の朝に放送にて周知する。
- ③ 公式練習は通常通り行う。

### 10. その他

- ① 発熱者（37.5度以上）の入場を禁止する（外出前の検温の徹底または入場時の検温を行う）。
- ② 大会関係者には、マスクの着用を義務付けた上で、出入口付近や通路にアルコール等の手指消毒剤を設置し、大会関係者同士が密な状態にならないように、あらかじめ定員を設定し間隔を空けるなど配慮する。
- ③ 会話をする場合は、マスクの着用を励行する。
- ④ 適宜手洗いやうがい等により予防に努める。
- ⑤ ゴミについては、感染症拡大防止の観点から各自持ち帰り自宅で処分する。
- ⑥ ホテル・旅館等に宿泊する場合は、大部屋を避けてシングルあるいはツインの部屋を手配するよう努め、宿泊施設の新型コロナウイルス感染症防止対策に従い、感染防止に努めること。
- ⑦ 移動手段として貸切バス等を利用する場合は、利用者は最小限の人員とし、できるだけ間隔を空けて座るよう配慮する。また、乗車中もマスクは着用すること。